

# 工場時間 vs 契約時間

レスリー ルックアウト パーク | トロント - カナダ | 2021-2024

マーク・ハレ  
CCxA 建築家 ペイサジスト  
ダウガン・アンド・アソシエイツ  
カヤナセ



契約は迅速に進むが、植物の成長は遅い。この二分法は、通常、建設中の植物の設置が妥協され、生物多様性のある植物の供給が制限される結果となる。宮脇

アプローチを導き、造園家、生態学者、そして種子収集者/栽培者/設置者が、ターゲットの原産地から育てた特別な植生パレットを使用してサイトの条件を設計するという新しいコラボレーションを刺激します。このアプローチは、商業的な事前に栽培された苗床のパラダイムを回避し、設計されたサイトとその

設計の段階で早い段階から協力して生態系をカスタマイズする方法は、新しい

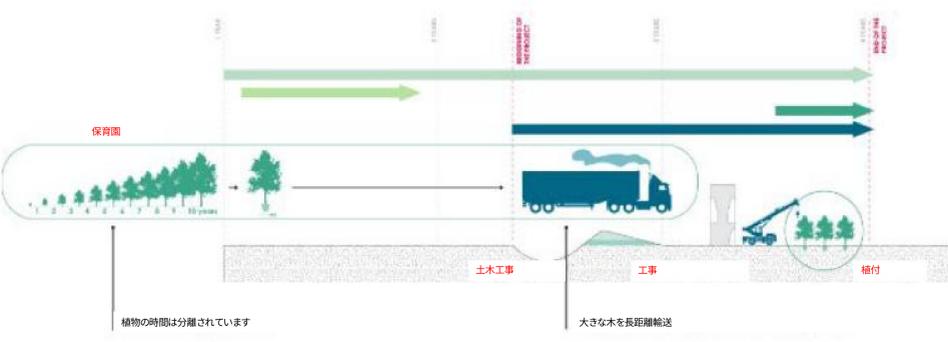
環境保護への願望は、植物輸入の固有のリスクと土壌場での代替品による望ましくない妥協を減らす、厳選され安全な植物供給を通じて裏付けられています。

宮脇氏にヒントを得たアプローチは、回復力と植物の冗長性を統合し、通常は考慮されず、入手できず、想像もできない種を都市の野生化に活用する新しいアプローチを推進します。

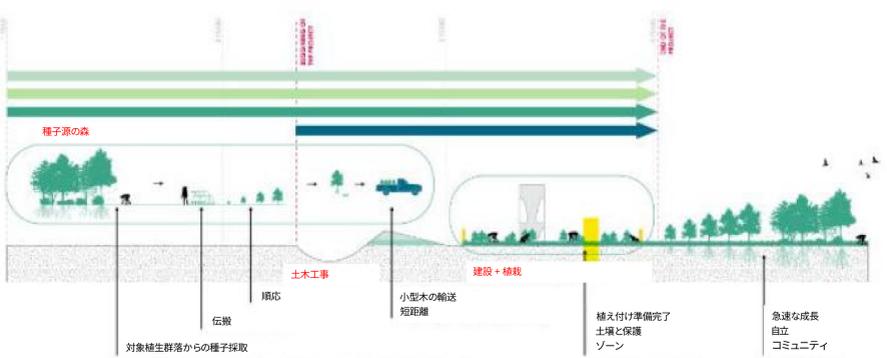
## より厳しい都市環境

ランドスケープ建築家 ランドスケープ生態学者 栽培者 請負業者

典型的な建設契約



植物の時間を統合して新しい生態系を実現する

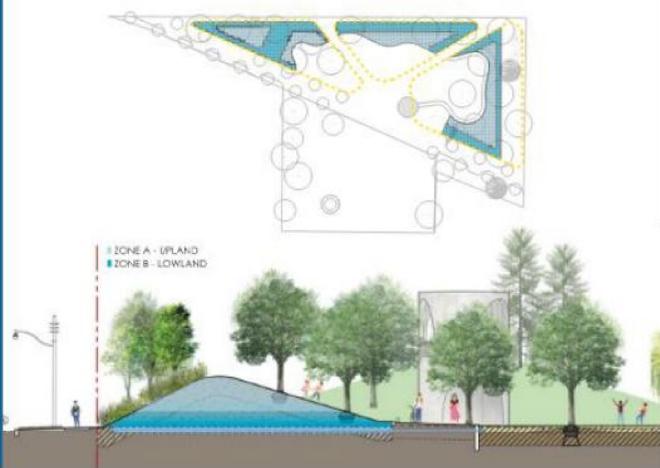


カナダのトロントにあるレスリー・ルックアウト・パークのケーススタディでは、宮脇氏に触発された植物調達のコラボレーションが紹介されており、管理された原産地の特殊な植生パレットが確保され、請負業者がプロジェクトの建設に携わる前から栽培されていた。その結果、気候適応を考慮した新しい生態系を開始できるカスタマイズされた植生パレットが誕生した。

伝統的な苗木調達の範囲を超えた、回復力、自立した遺伝的生存能力。栽培者/設置者、種の入手可能性、生物学的の特異性は、早期の導入により確保された。

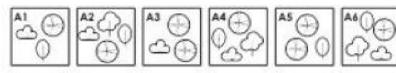
種子の収集、繁殖、植え付け。建設現場での請負業者との調整により、安全かつシームレスに「植え付け時間」を遅らせることができました。

「契約時間」の速いペースに組み込まれます。

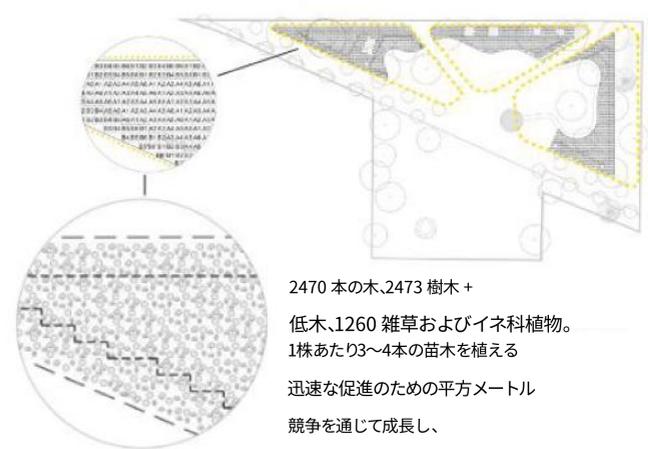
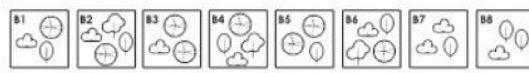


CANOPY SUB-CANOPY ARBORESCEN SHRUBS

ゾーン A - 高地



ゾーン B - 低地



2470 本の木、2473 樹木 + 低木、1260 雑草およびイネ科植物。1株あたり3~4本の苗木を植える 迅速な促進のための平方メートル 競争を通じて成長し、回復力のある生物多様性 協力。

プロジェクト開始時に造園家、生態学者、種子収集者/栽培者/設置者の中で専門知識を統合し、種の入手可能性と生物学的の特異性は、早期の

種子の収集、繁殖、植栽に着手しました。建設現場での請負業者との調整により、指定された森林地帯での「植栽時間」に必要なゆっくりとした時間を確保し、安全かつシームレスに「契約時間」の速いペースに統合できる。農村の環境修復プロジェクトでよく行われるこのレベルの管理は、都市の創造にも導入できる。

都市で予想される攪乱状況や、温暖化などの他の問題に対応するために変数が調整される景観。レスリー ルックアウト パークでは、今後トロントが温暖化することを予想して、同じバイオームのわずかに暖かい緯度に適した種子と植物群落が調達されました。



宮脇氏にヒントを得た、森林のあらゆる階層に密植するアプローチは、地上での競争と地下での協力を促進し、その土地の固有の特性に順応する植物の生育を最適化します。

各サイトの移植ショックとは対照的に、このアプローチは、構築されたサイトの特殊性に合わせて調整された回復力のある植生コミュニティを可能にし、強力な

都市システムへの生態学的統合は、最終的には都市部と農村部の生態系マトリックス間の促進剤となる可能性がある。

将来、種が気候変動やその他の攪乱に適応できない場合、このような適応した森林は、最終的には潜在的な再生の吸収源となる可能性がある。

注: 植栽から 1 年後の生存評価では、生存率は 95% を超えており、死亡率は主に特定の種に限られていることが示されました。